

クルマ情報 TOPICS

地方公共団体の補助金事業

政府のCEV補助金と併用も可能

東京都の補助金制度もスタート

本誌前号では政府が行う令和2年度第3次補正予算CEV補助金についてご紹介しました。今回は地方公共団体が行う次世代自動車購入に関する補助金制度をレポートします。

東京都は4月23日(金)から電気自動車等の普及促進事業(EV・PHV車両)の申請をスタートさせました。この補助事業はCEV補助金と同様、電動車に加え、外部給電機などの設備について補助金が交付される制度です。

助成対象は東京都内に事務所・事業所を有する法人・個人事業主と東京都内に住所を有する個人が主体で、経済産業省の「クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金」と同一の車種が対象車となっています。助成額はEV、PHVでそれぞれ一律の金額が交付されます。ただし、初度登録の日により助成金額が異なっているため、確認が必要です(表1)。なお、CEV補助金と重複しての申請も可能です。

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/ev>

表1 東京都の電気自動車等の普及促進事業助成金
2021年3月31日以前の初度登録の場合(万円)

	EV	PHV
法人・個人事業主	25	20
個人	30	30

2021年4月1日以降の初度登録の場合(万円)

	通常		環境省補助あり	
	EV	PHV	EV	PHV
法人・個人事業主	37.5	30	50	40
個人	45	45	60	60

出典：クールネット東京ホームページ

札幌市はEVとFCVで補助

札幌市は4月1日(木)より、市民と事業者に向けた次世代自動車購入等補助制度をスタートさせています。乗用車の対象車はEVと燃料電池車で、住宅とクルマを相互に電力供給するV2H充電設備も対象に含まれます。

助成対象者は札幌市民をはじめ、市内で1年以上同一の事業を行う事業者・個人事業主、そしてリース事業者です。補助金はクルマによって異なりますが、例えばクルマだけ単体で申請すると、日産のEV、リーフe+の場合、24万8,000円、リーフで16万円が補助されます。トヨタのFCV、ミライは16万3,000円(CEV補助金と同時に申請した場合)が交付されます。なお、V2Hと同時購入した場合も補助金が用意されており、手厚い内容となっています(表2)。対象のクルマと設備は共に2021年2月20日(土)から2022年2月18日(金)までの初度登録、設置分です。

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya_kankyo/jisedai_hojo.html

クルマご購入の際は、地方公共団体の補助事業についても是非チェックしてみてください。

表2 次世代自動車購入等補助制度上限額と例(万円)

車種名	単体購入	V2Hと同時購入
EV	30	—
リーフe+	24.8	37.2
リーフ	16	24
FCV	50	—
ミライ(JPD20)	16.3	—

出典：札幌市環境局ホームページ



東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。



自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。